No タイトル 591 2022年、夏	投稿者柳家花ごめ	評価者 一般審査員A	点数 各項目20. 怖さ 18	鋭さ	新しさ 18	ユーモアさ 18	<u>意外さ</u> 18		書評 リモート会議中に目が真黒い女が映ったって普通に怪談話しているかと思っら、まさかまさかの展開。えっ、その学生たちは何者?未来人?それとも、の時だけ自分が未来に飛んでいたのか?意味が分からない話だけど振り返っら自分しかいない店内を想像したらちょっと怖くなりましたね。並行世界と
591 2022年、夏 591 2022年、夏	柳家花ごめ	一般審査員B	10	13	14		10	59	わるという展開が面白かったため、新しさ、ユーモアさ、意外さを高めにしいます。 コロナが20年前という違う世界線の人たちの話を聞いたという話ですが、そも不思議ですが20年前の話をそこまで覚えていて、詳しい話は覚えていない思うって言うってことは、じつはそいつが作った話なんじゃないかなと思いした。 おおっその学生達は違う次元から来た?それともこの空間自体が未来へ行っ
591 2022年、夏	柳家花ごめ	一般審査員D	16		17				いる?あの大変だったコロナ禍も時が流れればいずれは過去の出来事になるでしょうね。その画面いっぱいに映り込んだ女がトリガーだったのでしょうね?短い怪談の中で展開が複数織りなされており、鋭さと新しさが特に際立ており点数高めとしました。このスピード感がある怪談!私は好きです。オチまで読んで主人公と一緒にはっとなってしまいました。短いながらも見な構成。主人公が別世界に行ってしまったのか、その空間だけ歪みができて
591 2022年、夏	柳家花ごめ	一般審查員E	18	18	20	18	20	94	たのか。怖さより不思議さが勝る話だと感じました。リモート会議でこういのが見えてしまったら自分ならどうするかとはらはらしながら読んでいたら最後の最後に背中を突き飛ばされたような衝撃を受けました。一粒で二度美しい話でした。 コロナ禍ならではの怪談で終わるのかと思ったら、最後に「ん?20年前?」「タイムリープ?」という驚く面白い展開で、文章がよく纏まっていて、オも付いていて、これぞショート怪談という作品でした。
591 2022年、夏	柳家花ごめ	一般審査員F	14	13	16	13	15		文章が非常に上手い、流石ですね。最後の最後に怖さ、意外さのゲージがグと上がる良き怪談です。お話としてはシンプルにあるような感じなのかな、思いきや、「え?」っていう展開に。コロナでリモート会議をしていたのが2年位前の話なんだとしたら、彼女達は未来人?でも、振り返ったら誰もいなかった、というのなら、やはり霊?それとも、異世界的な話?と、色々な疑が沸き上がってきてお話として面白い。まあ、霊界は、時間の概念もこの三
591 2022年、夏	柳家花ごめ	一般審查員G	13	13	13	10	14		元とは異なるらしいから、彼女達はやっぱり霊、だったのかもしれないですね。複数人だから、判断は難しいところですが。 え?どゆこと?なお話しでした。投稿者さんも"強烈な違和感"と記してある道り、私も違和感というか「?!」しか浮かんできませんでした。しかも結局誰いなかったとの事。ますます謎!ショートなので仕方ないのですが、もう少状況描写や補足的な文章を加えるともう少し違和感の気持ち悪さが増してくのでは?と個人的には感じました。また最後のオチも予想外でしたし、学生
591 2022年、夏	柳家花ごめ	一般審査員H	10	10	18	20	18	76	る話の内容も不思議でしたし…色々な意味でも考察の楽しめる怪談でもあると思いました。 なんというスピード感。最高ですね。これはSF系の不思議な話ですが、上手怪談として成立しているように感じました。ガランとした店内には主人公独だとすると、未来に行ってしまったのかも!?!と続きが気になりました。マホが20年後に無いかもしれない点を考慮した単語選びも素晴らしいと思い
591 2022年、夏 591 2022年、夏	柳家花ごめ柳家花ごめ	一般審査員I 一般審査員J	13		12				した。ふと気付いたのですが、主人公の性別が不明のままですね…もしかし目が真っ黒な女って…? 未来から来た人?未来から来た幽霊?未来の話かと思ったらまさかの話して人たちが未来の人なんて笑。意外でした。おもしろかったです。読みやすかたです。 にです。 たこ:後ろにいた学生たちは、未来の人たち?だったのか非常に気になる怖
									があった。 鋭さ:最後に違和感を覚えさせるところも読者に寄り添った書き方となって たのが良かった。 新しさ・ユーモアさ:居酒屋や街で聞こえてくるふとした話題に違和感を覚 るという何気ない話が良かった。 意外さ:結局、学生たちが何だったのかが気になる。自分が未来に迷い込ん のか、逆なのかが気になった。
No タイトル 550 「座敷童子の宿」	投稿者 影絵草子	合計 評価者 一般審査員A	141 怖さ 15	144 鋭さ 14	158 新しさ 20	ユーモアさ	意外さ	746 合計 84	書評 出会ったら良いことがあると言われている座敷わらしだけど、この座敷わら はどうやら違うみたい。座敷わらしの顔をした死神なのかな。その座敷わら に笑いかけられたら最後。旦那さんの場合は交通事故だけど、他の人は別の
550 「座敷童子の宿」 550 「座敷童子の宿」	影絵草子	一般審査員B 一般審査員C	13		13				で亡くなるんだろうな。いずれにせよろくでもない存在ですよ。 座敷童やけど気に入ったら連れて行くって、ただの生贄ですね。女将が何か知っているのは間違いないですね。 ほぼお~これはラスト女将さんのヒトコワと座敷童子の無邪気な怖さの掛けわせが素敵にブランドされておりますね。知らぬが仏と申しましょうか…私更に妄想してしまいました保険金をたっぷりかけて不慮の事故と見せかけて
550 「座敷童子の宿」	影絵草子	一般審査員D	16	17	18	17	18	86	那を亡くす悲劇の妻。ふふふそれは余りにも出来過ぎでしょうか。短い文ので綺麗に起承転結がまとまっており、思わず唸ってしまいました。ユーモアオチの意外さに感嘆。 良くないものでも祀れば神となる、という話はよくありますがこれは果たしどちらなのでしょうか。旦那さんはそれを座敷童と認識したから気に入られしまったのかもしれません。理不尽な理由で命を奪われるのはやるせないでね。一般的な座敷童とは少々イメージが違っている「それ」は本当に良いも
550 「座敷童子の宿」	影絵草子	一般審査員E	20	18	18	15	20	91	る。一般的な屋が量とはダペイスークが建っている。それがは本当に良いもなのかそうでないのか。女将さんの言葉が後味の悪い差を醸し出していて良意味で嫌な話でした。 座敷童子と言えば、ちょっとしたいたずらはするけれど、可愛らしくて、会ると幸運をもたらす良いイメージなんですが…。旅館で「小太りでおかっぱで赤い着物の白粉の塗られた真っ白い顔の子供」と言えば座敷童子と思ってまう、人間の固定観念や先入観って恐いなと思いました。連れて行かれてし
550 「座敷童子の宿」	影絵草子	一般審査員F	14	13	13	12	13	65	う恐さと二つの恐さを感じるお話でした。 "座敷わらし、と聞けば、見たら幸せになれる、と言われますが、そこの旅に現れる座敷わらし(?)は一般的に想像されるものとは質が違うのですね。が 館で座敷わらしに出会ったご夫婦の旦那さんが、その後事故で亡くなってしまったのはその座敷わらしと言われる童女に連れて行かれてしまったからだ思うと怖いですね。座敷わらしに気に入られたら幸せになるどころか、命を
550 「座敷童子の宿」	影絵草子	一般審査員G	15	15	14	10	18		としてしまうなんて…。旅館の女将もそれをわかっていて真実を隠しているころがまた怖い。他のお宿でもそんな童子がいるのかも気になってしまう。 冒頭読んでいて、座敷童子のお話しだなぁと思っていた所に様子が違うとの写…一気に興味深々になった私です。にっこり笑ったとの事だったので、怖ものでは無いんだろうなぁとも思っていた所にまさかのオチ!気に入られるされて行かれるとか怖い!怖すぎる!!その白塗りの女の子は何者なんでしうね…詳細を語れない何かとは??色々と興味深いお話しだったと思います。
550 「座敷童子の宿」	影絵草子	一般審査員H	10	15	10	5	15	55	っね…詳細を語れない何かとは!! 色々と興味深いお話したったと思います。 さの点、その他も高評価を付けさせて頂きました。とても面白いお話しでした。 本当のことは言えないのに、言っちゃってる…女将さん。奥さんが見た子どは一体どんな姿だったんでしょうか。とても気になります。時間差で不幸がやってくる部分がとても良かったです。後日談のおかげで余韻が深い怪談によってると感じました。
550 「座敷童子の宿」 550 「座敷童子の宿」	影絵草子	一般審査員I 一般審査員J	14	13	14				気に入られてしまった旦那さん。奥さんには最初から死神に見えていたのかな?それだったら旦那さんが亡くなるのを死ぬまで待たなきゃ行けなかっただろうか?座敷わらしなら気に入られなかったらただただ幸せになっていただろうか 怖さ:座敷わらし風の女の子は、一体なんなのかわからないまま、連れて行れたのかもしれないという後味が悪く気持ち悪さがある話だった。
									鋭さ:事象の要点を抑えてわかりやすい話だった。 新しさ:座敷わらし風の女の子がつれていくという一見、不幸な話ではなさ うかと思わせたところが良かった。 ユーモアさ:女将さんの対応にブラックユーモアがあったところが悪くなか た。 意外さ:座敷わらし風の女の子に関する女将さんの話は、謎を深める話にな
No タイトル 589 後悔先にたたず	投稿者 猫科狸	合計 評価者 一般審査員A	151 怖さ 13	147 鋭さ 15	151 新しさ 12	ユーモアさ	意外さ	746 合計 67	でいて良かった。
589 後悔先にたたず589 後悔先にたたず	猫科狸猫科狸	一般審査員B 一般審査員C	13	12	14		13		れ、リュックを捨てたのがダメだったという展開はひねっているなって思いした。 なんで生首がリュックに入ってるっていう謎があって、さらにリュックを捨たら生首が戻ってきて部屋をぐるぐる回る謎、ノーヒントだとただ意味がわらない話になります。 何ともまぁ奇妙な怪談。狂っているのはこの世界?それとも自分自身?最初
589 後悔先にたたず589 後悔先にたたず	猫科狸猫科狸	一般審査員C	14	13	14		12		直感のみいた様なものも、不気味過ぎる正体不明の生首、そして謎のリュック、読み手側の想像を駆り立てるじめっとした文が良かったです。生首といば中国の妖怪飛頭蛮を真っ先に思い浮かびますね。飛頭蛮とは胴体から首がれ夜な夜な空中を飛び回る妖怪です。そのリュックは飛頭蛮を閉じ込める為重要なアイテムだった説もありますね。 不気味な妄想にとり憑かれているのかと思いきや、それが事実だったのか、
589 後悔先にたたず	猫科狸	一般審査員D 一般審査員E	20					98	「何か」を呼び寄せてしまったのか。どちらともとれる話だと思いました。者だったら人の思いの強さの気味悪さになるし、怪異であれば何故この人にいてきてしまったのか気になります。最後後悔するところそこ?!と思わず突っ込んでしまいました。その部分で鋭さを高く付けました。面白い!リュックを捨てたら終わると当然思いました。まさか生首だけが残ってしまなんて…。なんでリュック捨ててしまったんだろうと絶望しますね。リュッ
589 後悔先にたたず	猫科狸	一般審査員F	14	12	14	9	13		に入っていればまだ見なくて済むけど、そのうち生首が見えてきたらと思う ゾッとします。どうやったら消えてくれるんだろう?私だったら、とりあえ 同じリュックを探します! リュックに生首…。まず、そこから既に意外性が高いんですが、お話として 新しいし、生首が部屋の中を動き回っているんだ、と思うとめちゃくちゃ怖 です。実際に目には見えていなくても、気配として感じるのも結構怖いんで しょうね。それにしても、なぜリュックに生首が入っていたのか。いや、実
589 後悔先にたたず	猫科狸	一般審査員G	18	15	15	10	16		にはなかったんだけれども。リュックを捨てた事に対しての後悔、というのまた怖さを増長しますね。まだ、リュックの中でだけ存在を感じる方がましだった、って事なんだろうけど、何れにしても生首は嫌だ。 話し口調な感じがとても軽快で読みやすく、またお話も興味深くとても面白読ませていただきました。文調からその時の様子がすごく伝わってきて怖いなぁと感じたので、怖さの点を高評価としました。しかし何故急にそう感じ
589 後悔先にたたず	猫科狸	一般審査員H	13	18	15	18	15	79	ようになったのか?!その辺の考察や最後のオチの部分の考察など色々と楽しる要素もあるかと思いました。でも文末が秀逸ですね…怖いですけど非常に味をそそられます。これから先ずっと生首と暮らすのか?!それを思うと怖さ、増します。 どうやって、こんなコミカルな怪談を思いつくのか聞いてみたいです。リュクに入れてから捨てるべきでしたね。ぐちゃぐちゃな生首になっているのも
589 後悔先にたたず	猫科狸	一般審査員I	12	11	12	12	12	59	いろんな場所をゴロゴロ動き回ってしまったからでしょうか。淡々とした温感なのに、対象物が異質すぎて怖いけど面白く感じました。オチの一文で綺に決まってショート怪談ならではの素晴らしい仕上がりになっていると思いす。 気のせいなんですよね?見た訳ではなく気のせい?気配を感じるだけですよね。リュックなら落ちた時に思い音がしてもおかしくないような。それなのリュックを捨ててしまうのは気がふれてるような。まさかそんな人の話?だ
589 後悔先にたたず	猫科狸	一般審査員J	18	18	15	12	18		たら意外性がすごいかもです 怖さ:なぜ、生首をリュックに入っていると思うようになったのかがわからいところと、家の中であり続けてしまうという、ゾッとする話だった。 鋭さ:主人公が感じている恐怖がわかりやすい記載になっていて、良かった、 新しさ:妄想と実際に体験してしまったことが、うまくミックスさせたとこが良かった。
No タイトル	投稿者	合計評価者	152 怖さ	153 鋭さ	148 新しさ	136	150 意外さ	739 合計	が良かった。 ユーモアさ:リュックを捨ててしまったことを後悔してしまったところの書 方がよかった。捨てなければ、どうなったんだろうとおもわせたところも良 かった。 意外さ:リュックを捨てなかったらどうなるのかが非常に気になる。 書評
558 金槌の重さは罪の重さ さ	SK SK	一般審查員A	12	15	18	15	16	76	昔いじめをしていて、忘れたころにその復讐をされるという流行りのネットンガみたいな展開。それがリアルではなく、夢を使って復讐するの意外だっので、新しさを高得点にしています。この主人公はどうなるんだろうか。まぁ、いじめはやっちゃいけないってことですよ。幸せをじわじわと奪われるのは怖いものがありますがまだ時間がありそうなで解決するのに動いてほしいですね。
558 金槌の重さは罪の重 さ	SK	一般審査員C	14	16	15	14	13		大は犯してしまった罪からは逃れる事は決して出来ない。報復は人生の絶頂に訪れる!警鐘ですねこれからドンドン堕ちてゆく様が目に浮かびワクワクます。…と強く願う側もまたヒトコワになりますね。考えさせられる作品です。自分としてはそのイジメられていた人がもっと異形異質の死神の様な禍しい姿でニチャ〜とイヤらしい笑みを浮かながら歩み寄って来て欲しいですね。描写にもっと力を入れてほしかったです。
558 金槌の重さは罪の重さ	SK	一般審査員D	13	16	14	15	17	75	「因果応報」これに尽きる話でした。吉兆夢と期待をしたところでそうではい、と気付いた時の絶望と逃れる方法はない、と腹を括る潔さがあるのなら何故いじめのような卑怯なことをしたのか。後悔してももう遅い、と教訓じた内容でもあり、された側は年数に関係なくずっと恨んでいるというヒトコも入っていると思いました。人を呪わば穴二つ、と言いますが虐められた人それを乗り越えてでも復讐したいと思ってしまう気持ちも理解できますが、
558 金槌の重さは罪の重さ	SK	一般審査員E	20	20	20	19	20	99	ちらも負の感情から解き放たれて欲しいと願ってしまいました。 一度、書評を書いたのですが、「傷の深さの分だけ」を読んで絶句しました。 慌ててこちらを読み直して、書き直しました。こちらがいじめの加害者目線 で、「傷の深さの分だけ」が被害者目線。凶器が同じ金槌。投稿者は違うと思いますが、偶然ですか?こんな偶然有るのでしょうか?鳥肌ものです。二件にとも高得点にさせて貰いました。偶然だったら二作品グランプリにして欲し
558 金槌の重さは罪の重さ	SK	一般審査員F	14	14	14	12	11	65	です。 夢だとしても見たくはないし、徐々に迫ってくる気配や人物というのは怖いしかも、その人物は『僕』が昔虐めていた人物だという。大きな金槌は罪のさの象徴、なのだろうか。虐められていた被害者は『僕』にそんな夢を見せ事で復讐を果たそうとしているのか。これまでにも夢で因縁の相手に追い詰られるような話は聞いたりした事はあるけれど、金槌を引きずって来る、とうのは聞いた事がないので新しいといえば新しい。すでに精神的に追い詰め
558 金槌の重さは罪の重さ	SK	一般審查員G	14	13	13	10	13		っのは聞いた事かないので新しいといえは新しい。 すでに精神的に追い詰めれてきている訳だけれど、最終的に『僕』は虐めた相手に撲殺されてしまうだろうか…。 そんな想像をすると更に怖さは増しますね。 自業自得というか…そして幸せの絶頂を選んで現れるモノ。仕方ないといえ 2 ままでな話しですが、非常に続きも気になるお話しだと思いますました。話しの描写もソレが迫ってくる感がすごく伝わってきて、幸せだと感じてる・子と相反する描写がまた怖さを増している様な感じがしました。話の構成等
558 金槌の重さは罪の重さ	SK	一般審査員H	10	10	18	10	15	63	まて相及する相当かなた即さを増している様な感じかしなりた。話の構成等とても読みやすかったです。やっぱり虐めはダメですね、文面からも凄い怨だを感じました。なので怖さの点では高評価だなぁと感じました。 読者が主人公に敵意をもってしまう鮮やかなスイッチの切り替えにやられまた。主人公は常に被害者である。というバイアスを壊していく展開に感服しした。若干残念なのが、じわじわ迫ってくる恐怖からザマァな心境になってまう点でしょうか。ショート怪談ではなく長編で読んでみたい設定かも。と
558 金槌の重さは罪の重 さ 558 金槌の重さは罪の重 さ	SK SK	一般審査員I 一般審査員J	13	14	15				いました。 下から読んできたのでめちゃくちゃビックリしました。まさかの相手方の話、大好きです。相手も同じ夢を見ている。ならやっぱり命が立たれたんでしょね。あの結果は 怖さ:昔のいじめていた相手から呪いのようなものを想像させて、過去の罪自覚させる非常に怖い話だった。
									鋭さ:ゆっくり近づいてくる相手が復習しにきたことを徐々にわからせるとろが良かった。 新しさ:いじめていた人物目線での話としたのがとても良かった。 ユーモアさ:いじめていた人物が罪を意識するブラックユーモアがよい。 意外さ:いじめられていた人物が復習するタイミングをどうやってわかってたのかそもそもこの人物は現在どうしているのかが非常に気にならせる終わ
No タイトル 586 すまんな	投稿者	合計 評価者 一般審査員A	143 怖さ 11	148 鋭さ 12	155 新しさ 11	ユーモアさ	151 意外さ 14	735 合計 60	方が良かった。 書評 お爺さん見つけてほしかったんですね。お爺さんがしきりに「すまんな」っ言うことに対して、最後に主人公が「ええんやで」って回答するのが良いなて思いました。
586 すまんな 586 すまんな	小金井	一般審査員B 一般審査員C	13	13	14				上手く作られた話ですね。屋上まで連れて行った理由もしっかりしてるし、ちゃんとしてました。でも、下に向かって叫んだのは急に嘘くさくなりました。 静かなホラーといった印象です。掛け合いに哀愁すら感じました。生きてる、に面倒はかけたく無いそんなお爺さんの念がきっとそこにあったのでしょう、妙に落ち着いてる警備員もうっすらヒトコワを感じました。こういった事態
586 すまんな	小金井	一般審査員D	16	18	16	19	17		何度もあって慣れっこなのでしょうか?色々と想像が膨らみます。このシリズがあるのなら是非読んでみたいです。警備員さんの冷静さにユーモアがあたので高めとします。 初め生きている人を巻き込もうとする良くないものかと疑っていましたが、うではなくて良かったです。早く見つけて欲しかったんだね、と読み終わっからちょっとほっこりしました。分かりやすい言葉ですぱっと伝えてくれる章力の高さを感じました。「ええんやで!」と言える人にみつけてもらえてま
586 すまんな 586 すまんな	小金井	一般審査員E 一般審査員F	18						章力の同さを感じよりた。「えんんりで!」と言える人にかりりてもらえてる爺さんも最後に幸せだったと思います。 お爺さんに長上から突き落とされそうになるのかと深読みしてしまい反省しした。見付けて事後処理をしてくれる優しい人を探していたのでしょうね。 「ええんやで」って言って貰えて安心して成仏してくれるといいですね! 怖さ、よりもちょっとした切なさ、暖かさ、を感じるお話でした。自ら命を断ってしまったものの、その場所は関係者以外立ち入り禁止で、なかなか見
586 すまんな	小金井	一般審査員G	18	18	18	10	18		けてもらえない。気づかれなければずっとそのままになってしまうご遺体 色々な意味で迷惑をかけてしまった罪悪感から「すまんな」という言葉を何 も繰り返していたのだろうお爺さん。警備員さんに知らせる、というところ 新しさを感じました。最後の「ええんやで」の一言にこちらまで救われるよ な暖かさを感じました。関西弁、というのもいいですね。 切な怖い怪談!!!ショートながらも情景の浮かぶ構成で爺の言葉も短いな
586 すまんな	小金井	一般審査員H	13	18	10	18	15	74	らも心情が伝わってきて、とても切なくなってきました。おどろおどろしい談では無いのですが、全ての点において高評価なお話しだと思いました。そて秀逸なのはやっぱりオチですね…もちろん悲しい、可哀想な気持ちはあるですが、まさかそうきたかと。色々な感情を揺さぶられたお話しだったと思ます。私的にはとても心に残るショート怪談となりました! ビルから落ちたのか、降りたのか、亡くなった本人が見つけて欲しくて出て
586 すまんな	小金井	一般審査員I	13	13	13	12	12	63	たんですね。古典的な展開ではありますが、途中の「下をのぞいて欲しい」 一文は、押されるじゃないかとゾワゾワしました。ええんやで一と叫ぶ余裕らある主人公にも若干恐怖を感じちゃいました。 なんかちょっと寂しいなと思いました。自殺なのか転落してしまったのかわらないですが発見されるまでに時間がかかりそうだから自分で教えに来たのしょうね。寂しいとこで亡くなったけど早く発見して欲しかったんでしょうね。いいんやでって警備員さんも優しくていいお話だと思いました
586 すまんな	小金井	一般審査員J	15	15	15	18	18		怖さ:亡くなってしまった原因が非常に気になるが、見つけてほしかったんとわかり、優しい主人公の行動が後味が悪くなくなっていたが、普通に怖かた。 鋭さ:主人公の行動がわかりやすくなっていて、良かった。 新しさ:後味が悪くないが、亡くなってしまった方が気になる。
No タイトル 560 持ち主	投稿者	合計 評価者 一般家奇昌 A	142 怖さ	150 鋭さ 18	141 新しさ 16	ユーモアさ	意外さ	733 合計	ユーモアさ:主人公のおじいさんに向かって言ったことがよかった。 意外さ:おじいさんが悪いことを考えているから屋上に主人公に連れて行く かと途中までドキドキしてしまったが、理由が違って安心したところがよか た。 書評 事故自転車というパワーワード。まぁ、言われてみれば確かにそうだ。何ら
560 持ち主 560 持ち主	川沿いのマスター 川沿いのマスター		15	18	16		18		事故自転車というパワーワード。まぁ、言われてみれば確かにそうだ。何らの理由で亡くなった人の想いが自転車に宿ってしまったのかな。違法駐輪で転車を処分するのではなく、正規の手順で処分してくれ。この自転車を買っらどうなるんやろ。ちょっと気になってしまいました。 自転車に霊は聞いたことありますが忘れ物の自転車にはたして、そんな霊がるのかが疑問ですね。いない事もないでしょうが高価な物なら取りに来そうし、執着が薄い気がします。
560 持ち主 560 持ち主	川沿いのマスタ-		16	16	16		16		し、執着が薄い気がします。 訳アリの中古自動車に纏わる怪談は数多ありますが、自転車ですから持ち主しがみ付いているのなら必ず次の持ち主は事故に遭うのは明白でしょうね。 常的に視える人の世界はこんな感じですかね。容易に想像出来る自然な怖さ 転換の鋭さがありました。 短編というより散文的で少々読みづらかったので鋭さは低めです。同様に、
560 持ち主	川沿いのマスタ-		15						をびしてしまって怖さも減ってしまったのが残念。設定、着眼点は面白かっです。 「事故自転車」というテーマは新しいと思いました。単なる放置自電車ではくて、いわくつきで放置された自転車の可能性もありますし、安易に中古品購入するのは気を付けないといけないですね。文字数ギリギリなので「そば立つ 既に乗っている 2人乗り」という書き方なのかも知れませんが、この部分をもっと分かりやすい書き方が出来るんじゃないかと思いました。最後
560 持ち主	川沿いのマスタ-	一般審査員F	12	13	12	12	13	62	ちょっと尻すぼみな感じでした。 違法駐輪の自転車の保管期間後の販売の話は聞いた事がある。確かに、もととは高値で販売されていただろう自転車を新しい、古いに関わらず、安価でえる機会としては、自転車を安く入手したい人にとっては有難いかもしれない。投稿者さんは盲点だった、という感想でしたが、中古品はそもそも抵抗ある人も結構いるんじゃないだろうか。少なくとも、私は怪談を頻繁に聞く
560 持ち主	川沿いのマスタ-	一般審査員G	13	13	13	10	13		うになってからは中古品はあまり買わなくなった。投稿者さんも、買う前にかって良かったのかもしれない。もしも、知らずに買っていたら…。 やはり中古物品って何かあってもおかしくない様なモノが紛れてる事ありそですものね…なんとなく納得して読み進めました。全体的にはそこまで怖さ感じ無かったのですが、文章の構成が残念だなぁと思う所がありました。前は良かったんですけど、ラストに向かう大事な箇所から急に構成が変わりそ
560 持ち主	川沿いのマスタ-	一般審查員H	10	10	18	15	15	68	点がお話しの質や読みやすさの点を下げてしまったのかなぁと思いました。のままの感じで記してもらいラストに行った方が個人的には良かったかなぁ。でもお話し自体はとても面白かったです。 ある程度栄えた土地なら、誰もが見た事ある大量の自転車保管場が舞台なので、想像がしやすかったです。事象の合間に会話が入っていることで良いスイスになっており、飽きずに最後まで楽しめました。呪いの自転車ってあま
560 持ち主 560 持ち主	川沿いのマスタ-		12		14		12		耳馴染みがないので新鮮に感じました。 ぴったり250文字! すばらしいですね! 事故自転車。聞いたことない言葉だったけどでもあっておかしくないんですね。事故自転車の怪談とか今まで聞いたことなかったのでそっかって気持ちいでした 怖さ:いわくつきの物件や車以外に自転車の話と心霊写真をうまく組み合わ
		. <u>⊷</u> , √	18	18	18	19	19		やさ:いわくつさの物件や単以外に自転車の話と心霊与真をつまく組み合わて非常に怖い話だった。 鋭さ:話の展開がよく、景色を想像させ、最後にゾッとさせるテンポが良かた。 新しさ:中古自転車の怖さと心霊写真、SNSをうまく組み合わせて非常に良かった。 ユーモアさ:友人の返信の理由が徐々に明らかになり、気持ち悪さを残したころが良かった。
No タイトル 598 傷の深さの分だけ	投稿者 YT	合計 評価者 一般審査員A	136 怖さ 12	138 鋭さ 14	158 新しさ 20	ユーモアさ	150 意外さ 20	721 合計 79	ころが良かった。 意外さ:いわくつき自転車が存在することと心霊写真に写っていたものは何だったのかとても気になるところで終わっているところが良かった。 書評 えっ?この話、『金槌の重さは罪の重さ』のサイドストーリー?でも、投稿者
598 傷の深さの分だけ 598 傷の深さの分だけ	YT	一般審査員A 一般審査員B	12	14	13				は違うよな。視点がいじめられた人になっていて、金槌を振り下ろすという。開はほぼ同じ。それが被害者か加害者の視点になっている。SNSが更新されいないということは、いじめをしていた人の末路は多分悲惨なものなんでしうね。いじめはだめ。絶対。 作者の名前間違えてますか?2部構成になっているのに違う人の話ってありえないですよね。 襲う人目線の話で怖さは無いですし、怪談としてはよれ
598 傷の深さの分だけ	YT	一般審査員C	15	14	14	13	16		いですね。 強い憎しみがやがて生霊となって夢に現れ見事に復讐を成就した!読んでい スカッとしました。誰にでもコイツだけは許せない!不幸に成ればいいのに いう人物の一人や二人はいるはずです。想いの力は具現化する例えそれがマ ナスの力であっても…。本当の怖さは自分自身すら知らない己れの内に有り す。文章としてはその人が亡くなったと直接的な表現では書かず、SMSの更
598 傷の深さの分だけ	YT	一般審査員D	17	19	18	17	18		が無いという表現に置き換えているのは現代ならではあり、一つのセンスをじました。 まさかの二本立て?! 読み始めた瞬間からドキドキさせていただきました。 分が無意識下でずっと恨んでいたことを夢で自覚した瞬間、気持ちを切り替 るのではなくさらに相手を恨み続け復讐を果たそうとする人間の執念と、い め被害者の傷の深さを思い知らせました。引き込まれる言葉選びが素晴らし
598 傷の深さの分だけ	YT	一般審査員E	20	20	20	19	20		です。今までありそうでなかった展開。これはいい!やはり一番怖いのは人間。 恐いです!鳥肌が立ちました。「金槌の重さは罪の重さ」と同じ投稿者では無いですよね?「金槌の重さは罪の重さ」がいじめの加害者目線で、こちらの「傷の深さの分だけ」が被害者目線。同じ金槌が出て来てます。偶然ですかこのリンク非常に恐いです。二作品とも高得点にさせて貰いました。偶然だたら二作品グランプリにして欲しいです。
598 傷の深さの分だけ	YT	一般審査員F	10	9	12	9	13		このお話は、先に読ませていただいた『金槌の重さは罪の重さ』というお話 同じ方が書かれたお話でしょうか?立場が逆転した、虐められていた側の人からの視点で虐めていた側の人物に仕返しをしに行くような夢の中のお話でが、同じ内容であっても、語り手の立場が違うとこんなにも印象は変わるもなんですね。それを改めて感じました。怖さは虐めていた側が復讐される、徐々に迫って来られる方が格段に怖く感じます。
598 傷の深さの分だけ	YT	一般審査員G 一般審査員H	14	13	13				徐々に迫って来られる方が格段に怖く感じます。 とてつもなく怖いというよりは、ゾクっとする怖さのしたお話しでした。夢 復讐した?という事なのでしょうか…しかし現実世界とリンクした様なオチ その虐めていた彼はどうなったんでしょう…その後どうなったのか??追記を 待してしまう私でした。ショートでありながらもなかなか重厚なお話しかな と。とても読みやすい文章でもありました。 〈金槌の重さは罪の重さ〉のオムニバス怪談ですね。やられました。読了後
598 傷の深さの分だけ598 傷の深さの分だけ	YT	一般審査員H 一般審査員I	15	10	15				満足感がありますね。運営の方も審査が楽しめるように最後に用意してくださってありがとうございます。スカッとする側からの視点ですが点と点が繋がって線になって、、、消す。じっくりと恐怖を感じてくる内容がすばらしい思いました。絶対長編に向いてると思います。ぜひチャレンジして欲しいです。 夢の中で復習できたのか、実は夢遊病的な感じだったのか。はたまた相手が
598 傷の深さの分だけ	YT	一般審查員J	118					79	生したのか。不思議なお話でした 怖さ:まさかの違う話と思わせた別の短編とのつながりの話であることとな ていて、良かった。結果とプロセスは非常に怖い。 鋭だ:プロセスが非常に怖いことを想像させていたのが良かった。 新しさ:目線が違っている短編が2つで実は2つとなっていたことがとても かった。
No タイトル 532 霊感彼女	投稿者 ななめごはん。	合計 評価者 一般審査員 A	145 怖さ 10	鋭さ	156 新しさ 11	ユーモアさ	147 意外さ 11	721 合計	ユーモアさ:2つで一つの短編としていたところが非常に良い。 意外さ:最終的に呪っていたのか?怨みが届いたのかが非常に気になる終わ 方だった。、 書評 心霊スポットで視えない人を乗せてしまったんですな。彼女は霊感があるた
532 霊感彼女	ななめごはん。	一般審査員B	13	12	12	11	12	60	見えないものが乗っていることを知っていたため、自宅に送ってって言ったかなって思いました。彼氏さんに幽霊が視えなくてよかったですね。視えてたら運転どころではなかったかも。 霊が普通に見える彼女がよく心霊スポットに行ったなぁって感じですね。しもちゃんと処理できる能力がある雰囲気もあり、なんで霊つれてきたの?とう感想です。
532 霊感彼女	ななめごはん。	一般審査員C	14	15	16				う感想です。 そう来ましたか!冷静な対応の女性はカッコいいですね。みじ怪談ならではスピーディーな切り口とユーモア、まるでタクシー代わりにしてますね。そりて幽霊さんに質問ですけども、移動は乗り物が必要ですか?後ドアが開いてないと降りる事は出来ないのですかね?妙に個人的に気になりました。怖さしてユーモアを感じました。 シンプルな文書なのに読み終わってからの余韻が不気味でとても良い。最後
532 霊感彼女 532 霊感彼女	ななめごはん。	一般審査員D 一般審査員E	18						微笑んだ理由は何だったのか、彼女には霊感があったのか、その時はたまた感じてしまったのか気になります。一番怖いのは乗っていた「誰か」より微んでいる彼女です。 心霊スポットで連れて来てしまった霊を、運転している彼に言わずに自宅にれ帰る優しい彼女。そのまま彼の家で降りていたら一緒に家まで付いて来てまうかも知れないし、彼女の臨機応変な判断が素晴らしいです。ユーモアと
532 霊感彼女	ななめごはん。	一般審査員F	12	13	13	14	14		外さを高く付けました。 最後の彼女の「降ろしとくから」という一言で、ユーモアさ、意外さのゲーを一気に跳ね上げるところは上手いですね。彼女には霊が見えていたんですね。怖がらず、動揺もせず、淡々と自分で考えて行動し、最後の最後に彼氏に微笑む余裕の彼女はなかなかの男前ですね(笑)。彼女は普段から霊が見えている人なのでしょうね。正直、それほどの怖さは感じなかったのですが、彼氏
532 霊感彼女	ななめごはん。	一般審査員G	15	15	14	10	18		らしてみれば、後々ゾッとする怖さはあったのでしょうね。彼氏の下心的な待を裏切っていく彼女の描写にもユーモアさを感じました。 短い怪談ながら、ストーリー性がありオチも秀逸だなぁと感じさせるお話しだったと思います。特にそのオチ(展開)に意外性を感じたので、その点を評価としました。「え?そーなの?」と良い意味で期待を裏切られました。彼女さんはミエル人なのですかね?しかし帰路に着くまで冷静に行動していた
532 霊感彼女	ななめごはん。	一般審査員H	15	10	15	15	15		様な感じで、なかなか肝が座ってるなぁ、慣れてるのかなぁ?と思い読みまた。何事も無ければ良いですが、やっぱり無闇に心霊スポットなんかには行ない方が良いですね。 ドキドキが違うドキドキに変わってしまう、温度差がたまらない怪談になっいますね!おもしろい!文章でも面白いのですが、読み聞かせでも面白くなそうです。「降ろしとくから」という声色によって、グッと印象的な怪談になっ
532 霊感彼女	ななめごはん。	一般審査員I	13	12	14	15	16	70	りそうだと期待がふくらみました。 彼女はそこで降ろしてどうするつもりなんだろ?なにが後部座席にいたんだろ?彼氏も疑問しか残らなくて不安だったろうな。言わない優しさだったのもしれないがそこまで言ったなら何がいたか言って欲しかっただろうに。。。み手もめちゃくちゃ気になります。霊感強い彼女で良かったのだろうけど。。彼女が降ろさなかったら彼氏はどうなってたんだろう?ってか彼女も家では
532 霊感彼女	ななめごはん。	一般審査員J	15	15	18	18	18		く他のとこで降ろせばとかいろいろ考えてしまうあと引くお話でした 怖さ:心霊スポットで何を連れて帰っていたのかがきになり、ゾッとしました。 鋭さ:非常にテンポが良く、想像しやすい。 新しさ:ドライブの帰りで何も起きないが、気持ち悪さが残る感じが良かっ ユーモアさ:彼女の振る舞いとその理由を読者に想像させるところが良かっ
									to.

584 何 584 何 584 何	猫科狸猫科狸猫科狸	一般審查員B 一般審查員C 一般審查員C	; 14	14	15	5 14	16	64 6 73 6 77	こんなことが起きたのか。本当に謎ですね。我が子の隣に嫁みたいなものがたらそれは怖いので、怖さの配点を高くしています。 奥さんが変なものを感じとって、そのものを追い出そうとしていた。その時子供のそばにいたのは母親の生き霊ではないのかなと思いました。 信頼できるはずの身近の人に成り変わるのは、かなりの悪意を感じました。れに一番リラックス出来る自宅でそんな事が起こるとなるともう安寧は訪れいでしょう。怪奇映画の冒頭のような怖さがそこにありました。何も知らずてを委ねる方が幸せなのかも知れませんね。怪異はいつもすぐ貴方の隣に… 「不気味な話だと思いました。何故もう一人の嫁、ではなく【嫁みたいなの】思ったのか気になります。人のようで何か違うものだと本能的に感じたので
584 何	猫科狸	一般審查員E						87	思ったのか気になります。人のようで何か違うものだと本能的に感じたのでしょうか。天井に何があったのかもとても気になります。奥さんには何が見ていたのでしょうか。その時点では区別がついていたのに、それ以降は区別つかなくなってしまったのはそれだけ【嫁みたいなの】の擬態が上手くなっいるのでしょうか。奥さんはその後無事なのでしょうか。その後が気になるでした。語りかけるような文章で状況は伝わりやすく良かったのですが、個的に人に対して「狂った」という言葉を使うのが好きではないので鋭さを低にしました。 「奥さんには「何」が見えていたのでしょう?それを聞きたいけれど、その奥
584 何	猫科狸猫科狸	一般審査員E 一般審査員F						71	んは果たして…本物なのか?いまも【嫁みたいなの】が現れるのか?ご主人 奥さんを他に集中させておいて子供が目的?どんどん想像が膨らむお話でした。 怖さはもちろんあるけれど、よりユーモアさ、書き方の鋭さが感じられる ショートですね。一応、子供さんを抱きかかえた時に[嫁みたいなもの]は消え た、という事なので、リビングにいた方のお嫁さんが本物のお嫁さんなのだ は思いますが。でも、もしも本物と偽物が入れ替わっていたとしたら…。区 が付かない程見分けがつかないというのもリアルに怖いかもしれませんね。
584 何	猫科狸	一般審查員G	G 12	2 13	3 13	3 10	13	61	が付かない程見分けがつかないというのもリアルに怖いかもしれませんね。のお話を読んで、夜馬裕さんの[理想の家族]というお話を思い出しました。このお話では逆にお嫁さんは明らかに性格が違いますが。投稿者さんも、理想追求し過ぎないように気をつけてくださいね(笑)。 怖さはあまり感じ無く、不思議な不可解な感じのするお話しでした。情景もかぶ様なお話しの展開でしたが、お話の不思議さから後半は一体どういう事となりましたが。また最後の文から投稿者さんすら分からなくなっている様に怖さを感じます。また何を見たのか??そこが1番気がかりで、不気味ですね色々と考察のしがいはありそうです。ショートなので仕方ないのですが、その
584 何 584 何	猫科狸猫科狸	一般審查員H 一般審查員I						63	
584 何	猫科狸猫科狸	一般審査員I 一般審査員J						72	なぜ困る?困る理由がわからず気持ち悪い話でした。ともあれ子供に何もなてよかったなと思いました 特さ:ドッペルゲンガーの話とおもわれる話で、しかも入れ替わったかもしない家族のはなしがゾッとした。 鋭さ:家族の中に生じた事象が容易に想像できる書き方となっており、とて良かった。 新しさ:家族の入れ替わり?なりすまし?に関して書かれた面白い話だった。 ユーモアさ:主人公が疑心暗鬼になってしまった情景の書き方が良かった。
No タイトル 531 寝室にて	投稿者ななめごはん。	合計 評価者 一般審査員A	140 怖さ 18	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	691 合計 80	ユーモアさ:主人公が疑心暗鬼になってしまった情景の書き方が良かった。 意外さ:最後の主人公の疑心暗鬼と後味の悪さが良かった。 書評) 想像すると怖い話です。夢の中に出てきた存在が目を覚ましたら目の前にい のはやばい。なんでてきたのか分からないし、目を覚ましてその男がいたと うことは、そこで終わりなのか気になります。もし、無限ループに巻き込ま:
531 寝室にて 531 寝室にて	ななめごはん。	一般審查員B 一般審查員C						74	うことは、そこで終わりなのか気になります。もし、無限ループに巻き込またらとか考えてしまいましたね。 目を閉じても開けても目の前に魚男の顔があって、生臭い匂いまで感じる。いというより意味がわからない、ただの嫌がらせですね。 夢か?現実か?その男はずーっと貴方の気付いて欲しくて側にいたのでしょかね。全くもって正体不明で不気味の一言です。例えば気配を感じて目を開たら目の前に居たのが可愛い猫ちゃんだったとしても少しは怖いものです。れが知らない男だったなんて画としてのインパクト強強です。前半から後半
531 寝室にて 531 寝室にて	ななめごはん。	一般審査員D						82	
531 寝室にて 531 寝室にて	ななめごはん。							62	 夢かと思って必死に目を開けたら目の前に居る恐ろしさ!しかも死んだ魚のうな気味の悪い男。恐さは有りますが、シチュエーションは、ありきたりながしました。怖さ以外は低めになりました。 ザ・ショートショートという感じの短い文章ですが、インパクトはありますね。目を閉じているのに浮かび上がる男の顔は、目を開いたら実際に目の前いた、というのは怖いですね。男は一体何者なんでしょうね。ぬめぬめしただったり、死んだ魚のような大きな目玉とか、漂ってくる生臭さ、とか、リルにイメージすると不気味だし気持ち悪い。実際に目の前にいたのだから、
531 寝室にて	ななめごはん。	一般審査員G	3 15	5 13	13	3 10	13	64	ルにイメージすると不気味だし気持ち悪い。実際に目の前にいたのだから、ではないのでしょうが、霊というよりは、妖怪だったり、魔物に近い存在なかもしれませんね。 状況描写もさほど無い中で、短い言葉からもその時の状況が目に浮かぶようお話しでした。様々想像すると怖い!でしかありません。しかしショート怪ではありますが、もう少し膨らませるとより怖さも増すかなぁとも思いました。何故その様な状況になったのか?事故物件??どこか変な場所から拾ってた??色々と考察が出来る怪談ではあるかと思います。しかし実際臭いまで感
531 寝室にて 531 寝室にて	ななめごはん。	一般審査員H 一般審査員I						61	た??色々と考察が出来る怪談ではあるかと思います。しかし実際臭いまで感るのは嫌ですね本にソレは一体何なのか。不気味な後味しかありません! 目を閉じて視える男の顔が、目を開けても見えていたという定番のようなチですが、顔半分もある目玉の存在のおかげで、めちゃくちゃ鋭利な怪談に上がっていると思いました。目玉のサイズ感について後半で判明する点も、成の上手さを感じました。 切いが気の所為ではなく本物だったという。。。顔の半分が目だって読んだ時ちょっと羨ましいと思いましたが笑。腐ってるってことですよね?なんだっ
531 寝室にて	ななめごはん。	一般審査員I						5 72	ちょっと羨ましいと思いましたが笑。腐ってるってことですよね?なんだっんですかね。その日だけならいいけど毎晩とか出てこられたら眠るのが怖くなっちゃいますよね。腐ってたとしたら変な液体が落ちてきたりしなかったは救いだなと思いました。匂いが残りそうだし。そうなったらどこに怒りをつけたらいいか笑 や
No タイトル 548 こっくりさん	投稿者影絵草子	合計 評価者 一般審査員A	155 怖さ 12	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	687 合計 62	鋭さ:よくわからない魚っぽい人物が何なのか気になる新しさ:よくわからない気持ち悪さの夢と現実についての話がよかったユーモアさ:魚っぽい人物が何なのかわからないのが気になった意外さ:魚っぽい人物が目の前にいた事が良かった 書評 存在しない5組があって、そこで4人組がこっくりさんをやっていた。4人組
548 こっくりさん	影絵草子	一般審査員B	3 12	2 10	14	4 12	13	61	中にいたのはたぶん自分だと思ったみたいだけど、不思議な話ですね。パラルワールドを見てしまったのかな?そして、並行世界の花井さんはどうなっしまったんでしょうか?こっくりさんで使用していた10円が消えたってことなるので、騒いでいるのかもしれない。 無いはずの5組を見てしまって自分みたいな子が落とした10円玉に自分の名前があった。まではわかるんですが、平成3年の10円玉の説明がなくわからないのが残念ですね。
548 こっくりさん 548 こっくりさん	影絵草子	一般審査員C						64	のが残念ですね。
548 こっくりさん 548 こっくりさん	影絵草子	一般審查員E						5 70	景を見たのが平成3年だったのか、それより先だったのか後だったのかで不気味さを感じる度合いがかなり変わるので知りたい情報でした。もう一人の自と出会ってしまったら命を落とす、という話もありますが花井さんは無事だた。それならそこには自分はいなかったのではなく、こっくりさんで占われいたのでは?等、考察の余地もあり面白い話でした。 花井さんの現在の年齢が分からないので「平成3年製造の10円」が出て来ても分かり難いです。「マジックでゆきお」の説明だけの方が分かりやすいし恐いと思いました。ショートだけど、もう少し説明が無いと恐さが感じられない
548 こっくりさん	影絵草子	一般審査員F	12	2 11	13	3 13	13	62	と思いました。ショートだけど、もう少し説明が無いと恐さが感じられない思いました。 『こっくりさん』というタイトルで、ちょっと怖さの期待値が自分の中で上りすぎてしまったせいもあるのでしょうが、正直、怖さはそれほど感じなかたです。怖い、よりも、不思議さだったり、不可解さを感じるお話でした。るはずのない教室が現れたり、その教室でこっくりさんをする4人の生徒を見たり、転がってきた10円玉を拾ったら、自分自身の名前が書いてあったりと謎だらけなのですが、全てはこっくりさんが原因なのでしょうか?花井君が
548 こっくりさん	影絵草子	一般審査員G	3 12	2 12	2 14	4 10	14	62	謎だらけなのですが、全てはこっくりさんが原因なのでしょうか?花井君が瞬だけ異次元に迷い込んだのか、それとも、次元が歪んで花井君の目の前にれたのか、何れにしても摩訶不思議ですね。 竹さの点では低めの評価を付けさせて頂いたのですが、ノスタルジックな感がする、とても不思議なお話しだなぁと思いました。謎の5組の部屋、そしてコックリさん、しかもそこには自分がいた?!どういう事なんでしょうね。こから先の事なのか?別な時間軸での出来事が何かのきっかけで現れたのか?!の後は大丈夫だったのか?!など色々と考察出来ますね。ショート怪談ですが
548 こっくりさん	影絵草子	一般審查員H						66	の後は大丈夫だったのか?! など色々と考察出来ますね。ショート怪談ですが 場面の描写も分かりやすく読みやすいなぁと感じたお話しです。
548 こっくりさん 548 こっくりさん	影絵草子	一般審査員I 一般審査員J						56 81	た。 ドッペルゲンガー?平成3年?平成3年が不思議?なぜ?なぜしか残らなくてくはなかったです。教室は消えたが10円玉は手元に残った。夢なのか現実なか?怖くはなかったが不思議ではありました 怖さ:学校の七不思議のような話かと思ったら、10円玉が自分のものだっのかもしれないという気持ち悪さがのこった 鋭さ:読者に想像しやすいテンポのよい話だった 新しさ:学校の七不思議と異次元にいるドッペルゲンガーをミックスしたと
	投稿者	合計評価者	131 怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	661 合計	新しさ:学校の七不思議と異次元にいるドッペルゲンガーをミックスしたとろがよかった ユーモアさ:5番目の教室は何なのかが非常に気になった 意外さ:ないはずの教室で、主人公かもしれない人物が、なんのために儀式していたのかが気になる
 529 ファミレスで聞こえてきた会話(一部抜粋) 529 ファミレスで聞こえてきた会話(一部抜粋) 529 ファミレスで聞こえ 	オラオラ オラオラ	評価者 一般審査員A 一般審査員B 一般審査員C	12	13	12	2 11	12	58	り ちょっとおかしい人が出てくる話で、おかしくなったのって何かの影響を受たのかなって思いました。幽霊が出てくる怖さではないけど、最後に出てく女性のビジュアルはちょっと気味が悪かったです。 3 霊が見える人だけが生き残っていて、一族の血を繋いでるなら、いつかは全員、霊が見える様になってその呪いも無くなるんですかね。それとも、霊がえることが呪いなんでしょうか? 2 余りにも不幸が連続するとソレが当たり前の日常となってる人はたまにいま
529 ファミレスで聞こえ てきた会話(一部抜粋) 529 ファミレスで聞こえ てきた会話(一部抜粋)	オラオラ	一般審査員C						72	② 余りにも不幸が連続するとソレが当たり前の日常となってる人はたまにいま よね。短い文の中にグロとヒトコワがほど良くブレンドされていて読み心地 良かったです。何を根拠に自分は絶対大丈夫と言えるのだろうか?読者側へ 強いメッセージ性も受け取れました。怖さの他に鋭い展開とラストの意外さ 高く評価致しました。 3 盗み聞きするつもりなくてもこんな会話が聞こえてきたらつい聞き耳を立て しまいますね…そしてどんな人が話しているか絶対気になります。聞かない がいいのにやめられない。そんな人の心理をついた面白い話だと思いました。
529 ファミレスで聞こえ てきた会話(一部抜粋)	オラオラ	一般審查員E	: 18	3 15	5 18	8 15	15	81	がいいのにやめられない。そんな人の心理をついた面白い話だと思いました、当たり前のように話しているけど本人は異常性を意識していない。それが一恐怖です。呪いなのかヒトコワなのか。どちらとも取れる話でした。個人的グロ系は苦手なので読んでて少々しんどかったです。 ファミレスで隣の話が聞こえてくることは有るけれど、こんな話をしていた確実に聞き耳を立てますね!私がこの場に居たら、この話を聞かされているの反応を見てしまうと思いました。短命というより、父方の一族にかけられ呪いか?彼女が見えている幽霊のせいなのか?兄も姉も相当な大怪我をして
529 ファミレスで聞こえ てきた会話(一部抜粋)		一般審査員F	: 11	12	2. 11	1 11	10	55	呪いか?彼女が見えている幽霊のせいなのか?兄も姉も相当な大怪我をしてるのに生きているのは、まだこれ位では死なせないって言われているようなもします。 「何気なく耳に入ってくる会話に思わず聞き耳を立ててしまう事はあるけれど何という会話…。短命というのは家系によっては確かにあるのだろうけれど顔面を犬に食べられて失明寸前とか、溺れて耳の鼓膜が片方破れて聞こえななるとか、何かに呪われてますか?と、思わず訊いてしまいそうですね。私今のところ何もない、と言う本人は自分が気づいていないだけで、他人から
529 ファミレスで聞こえ てきた会話(一部抜粋)		一般審査員G	3 14	13	13	3 10	13	63	今のところ何もない、と言う本人は自分が気づいていないだけで、他人からたらやはり変なのか…。会話の語り手の主さんが今後も無事で長生きされるを祈りたいと思います。怖いというよりも、ちょっと不気味で気になるお話した。 別聞き耳…というのが面白いシチュエーションですよね!しかし内容がなかながつテスクで気持ちの悪い話で。でも何より1番怖いというか気持ち悪いなまと感じたのが、こんな話をなかなか軽めのテンションで話せる事の異常性かくる怖さ。様々な気持ちにさせられる怪談でした。そして末文の女性の様子
529 ファミレスで聞こえ てきた会話(一部抜粋)	オラオラ	一般審查員H						55	くる怖さ。様々な気持ちにさせられる怪談でした。そして末文の女性の様子目をギョロギョロさせる様子!1番不気味ですね!何かに魅入られてるのか、何故その様な様子だったのか色々と気になりますね。闇深い恐ろしさものをじでしまいました。 終始すごくライトな語り口調だったので、オチの怖さが際立ってると感じまた。途中の描写が痛々しかったので語っている女性はどんな悲惨な目にあっいるのかゾワゾワしながら読み進めました。幽霊がみえる"だけ"ってのも怖くていいですね!
529 ファミレスで聞こえ てきた会話(一部抜粋) 529 ファミレスで聞こえ てきた会話(一部抜粋)	オラオラ	一般審査員I						2 58	いるのかゾワゾワしながら読み進めました。幽霊がみえる"だけ"ってのも怖くていいですね! その人は独り言を話していたのでしょうか?身体になにもないけど幽霊がみる。その場にたくさん幽霊がいて幽霊とお話してたのでしょうか?周りからたらおかしな人ですよね。みなさん命を落とさずにすんでよかったなと。体不自由なのと気がおかしいようにみえるのどっちが。。。って思ってしまいまた。怖いか怖くないかで言えば怖くはなかったです 「怖さ:親族の亡くなり方や被害の受け方が、怖い。更に「私」は、なぜ、こなに冷静なのか本当に大丈夫なのかわからない怖さがあった。
		一般審査員J	15					2 70	トロップ トロック トロック かられる では、といっては、これが、
No タイトル 567 闇の語り手 567 闇の語り手	投稿者 那由多	合計 評価者 一般審査員A 一般審査員B	怖さ 10	鋭さ) 12	新しさ ! 11	ユーモアさ	意外さ 14	650 合計 59	いところが良かった
567 闇の語り手 567 闇の語り手	那由多	一般審査員B 一般審査員C		9			7	58 58	れなタイトルだと思います。
567 闇の語り手	那由多	一般審査員D) 14	17	16	6 16	17	80	けでもあり得ない攻めた事態を引き起こしてみても良いのでは無いでしょう
567 闇の語り手 567 闇の語り手	那由多	一般審査員E 一般審査員F						5 80	曲者ですね。この方も怖がるというより何が起きた方が楽しいと感じているうで、気持ちがとても分かります。そして終わり方の鋭いこと!面白かったす。 怪談ライブでの心霊現象は、珍しい話では無いなと言う印象です。霊が集まやすいのでしょうね。その怪談師さんの話が一切書かれていないので、物足なさを感じてしまいました。どんな話だったのかをさわり位は書いて欲しかたです。 実話でしょうか?だとしたら、語り手の怪談師さんとは一体誰なのか気にな
567 闇の語り→	那由多	一般審負。						51	
567 闇の語り手	那由多	一般審査員G	3 18	3 13	14	4 10	13	68	それほど感じなかったのですが、半ばあるある過ぎて、投稿という形で聞かれる事はなかったので、そこに新しさを感じました。 高麗に纏まったショート怪談かと思います。オチ、そして最後の末文も "おっ!"となる様な小気味の良い感じでとても読みやすい、面白い怪談でした。怪談師さんも色々な方がいますし、障のある話しなどは確かにありますら…会場の方は凄い体験しちゃいましたね!でもその後何事もったしなら良いですけど…。私も体験してみたいなぁとちょっと思ってしまいました。そして会場の方々を思うと相当怖かっただろうなぁと思ったので怖さの
567 闇の語り手	那由多	一般審查員H		5 5				45	た。そして会場の方々を思うと相当怖かっただろうなぁと思ったので怖さのは高評価としました。 派手目な演出の怪談がゆえにオチに物足りなさを感じてしまいました。このは幽霊などの影響ではなく、怪談師さんがおこすポルターガイストなのでは!?と想像してしまいました。好みだとは思いますが「楽しみですね。」の使い方がもったいないように感じました。読者が触れる機会が確約しているわせがある方が、ぐっと効果があると思いました。 怪談師さんには怪音がきこえなかったのか?もし聞こえていてその話をして
567 闇の語り手	那由多	一般審查員I 一般審查員J						60	怪談師さんには怪音がきこえなかったのか?もし聞こえていてその話をしてたら怖いなと思いました。そうなることがわかっていて聞かせる話。もし天が落ちたらとか考えたら怖いなと。自分が怪談ライブに行った時にそんなこがおこったらどうするだろ。わくわくするのかなビビり倒すのかな?そんな談きいてみたいな 情さ:怪談話で現象がおきるという話でだとわかった。どんな触りがある話したのかが気になった。 鋭さ:会場全体で感じたことがよくわかった。
No タイトル 597 小さな演者	投稿者 SK	合計 評価者 一般審査員A	114 怖さ 15	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	e 606 合計 e 67	鋭さ:会場全体で感じたことがよくわかった。 新しさ:会場での現象を取り上げた話であったことがよかった。 ユーモアさ:会場での現象が想像しやすい感じで良かった。 意外さ:どんな話だったのかが非常に気になった。 書評 オバケ屋敷には本物が紛れ込むというけど、この話はまさしくその典型です
597 小さな演者 597 小さな演者 597 小さな演者	SK SK	一般審查員A 一般審查員B 一般審查員C	3 12	2 12	! 12	2 13	15	64	ね。いきなり自分の腰のあたりを撫でられるのはちょっと嫌ですね。この世存在じゃなくてある意味よかったですよ。 お化け屋敷の子供を幽霊として、ビビったんじゃなく、キャストとみて驚いたんだという点に驚きました。流石に子供は雇わんでしょ。 お化け屋敷では割とあるあるでしょうか。遊園地や楽しそうな雰囲気の場所は元人間だった幽霊達も多く集まってくると聞きます。それとあの世のルール?がありその場所に縛られて出れないというのもあります。悪意ある霊は
597 小さな演者	SK	一般審査員D) 17	12	2 12	2 14	. 11	66	ル?がありその場所に縛られて出れないというのもあります。悪意ある霊は、供の姿に化けて人を油断させ、取り憑きここから外へ出ようと策を巡らせてる霊もいると私はこう考えました。無邪気を装うモノ程怖いモノは無いかな…と想像が膨らむ怖さがありました。 本物が怪異が紛れこんでいるかもしれないと思いました。恐怖体験をしに行ているのに、実際に出会うとパニックになると思います。まさか、と思いつ出会ったものの正体が気になって検索してしまう「怖いもの見たさ」。追体彫のように改めて怪異を味わえるのはいいですね。体験自体は自分の身におき
597 小さな演者	SK SK	一般審査員E 一般審査員F						65	のように改めて怪異を味わえるのはいいですね。体験自体は自分の身におきら怖いと思いますが、文章がぶつ切りでそれが伝わりにくいのが勿体ない。 お化け屋敷に本物が…は、よく有る話です。それらとは違う何かが無いと加しにくいです。文中に有るように「子供をスタッフにするのも不自然」なので、最後の「あの子はもしかして…」と濁すだけだと盛り上がりに欠けるな思いました。 お化け屋敷に実物が出る、という話はよく耳にしますね。なので、どうしてよくあるお話、と捉えてしまって、申し訳ないのですが、評価は総体的に低
597 小さな演者	SK	一般審查員G						64	よくあるお話、と捉えてしまって、申し訳ないのですが、評価は総体的に低なってしまいました。まあ、自分自身が同じような体験をしてしまったらきと怖くてワーワー言ってしまうのでしょうけど。その子供はもともとからそにいたのか、それとも誰かに憑いてやって来たのか。お化け屋敷は個人的にきだし興味はあるので、私もそのお化け屋敷に行ってみたいです。 お化け屋敷って色々と怪異が起こるとは言われていますが、このお話しは子の霊らしきもの?!だからなのかそこまで恐怖には感じず"遊んで欲しかったのなぁ"と少し可哀想に思えたお話しでした。なので怖さの点ではそこまで高評
597 小さな演者	SK	一般審查員H	5	5 5	5 5	5 5	5	5 25	なぁ"と少し可哀想に思えたお話しでした。なので怖さの点ではそこまで高評とはしていません。しかしその子供の霊らしきモノは悪さをする様な感じもないし…何故こんな場所に現れるのか??謎ですね。お話しも纏まりがしっかとしていて読みやすかったです。文末も結論はあえて言わずに濁す辺りも読手の心をくすぐる感じで良かったのではないでしょうか。 お化け屋敷あるある怪談ですね。凝った怪談が並ぶ中、定番の内容、定番の開だからこそ、逆に輝いているように感じました。丁寧な文章でとても読みすかったので10代20代の子たちには響きそうな内容だと思います。抑揚の激
597 小さな演者 597 小さな演者	SK	一般審査員I						2 59	
597 小さな演者	SK	一般審負。						72	1112 1212 1
597 小さな演者	SK	一般審査員I	12	2 11	12	2 12 5 12	12	59 72	としていて読みやすかったです。文末も結論はあえて言わずは 手の心をくすぐる感じで良かったのではないでしょうか。 お化け屋敷あるある怪談ですね。凝った怪談が並ぶ中、定番の 開だからこそ、逆に輝いているように感じました。丁寧な文章 すかったので10代20代の子たちには響きそうな内容だと思いさが無いので、どこかを崩せば、新しい怪談に生まれ変わした。…子どもが腰を触るでしょうか…もしかして、子どものいる…大人の霊? お化け屋敷に本物の幽霊がいるってよくある話ですよね。私の屋敷で幽霊に遭遇したって話は聞いたことあります。周りの多きっと普通に遭遇するより怖いのかもしれないと思いました。 怖さ:お化け屋敷で心霊体験をすることがあるときいたことが 体験は、それに当たるのか自問自答するという怖いところで終 がった 鋭さ:お化け屋敷の話を怪談話として聞いたことがあるが、 で終わらせているところが良かった。 意外さ:何か悪さがあるのかきにならせている終わり方が良が